

< 共同研究発表 >

共同研究 1

小学校プログラミング教育に関する教職員研修の在り方についての一考察
-授業実践に対する教職員の認識に焦点を当てて-

共同研究 2

教科等横断的な学びに関する一研究

共同研究 3

学校現場を支える教育センターの役割
-「ケース」支援を通じて-

< 講演 >

前思春期～思春期・子ども支援の要点
-教育相談と生徒指導のユニバーサルデザイン-

特別支援教育ネット代表・宇部フロンティア大学臨床教授

小栗 正幸 氏

令和三年度 島根県教育センター浜田教育センター

教育研究 発表会 オンライン開催!

5月15日(土) 12:50配信スタート

浜セの研究って、
意外とオモシロイ!

発表と講演は全て
オンラインで行います。
申込みはこちらから!



教育研究 発表会

参加申込〆切：5月10日(月)

【問い合わせ先】

〒697-0023 浜田市長沢町 1550-1
島根県教育センター浜田教育センター
教育相談スタッフ 井口 猛
TEL(0855)23-6782 FAX(0855)23-5059
E-mail : iguchi-takeshi@edu.pref.shimane.jp

ごあいさつ

うらかな春を迎えました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、当島根県教育センター浜田教育センターでは、教育研究発表会を開催いたします。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度はオンラインによる発表会となりますが、多くの教職員の皆様にご視聴いただき、これらの研究成果を教育実践の参考にしていただくとともに、私たちの研究等についてご意見とご感想を賜ることができれば幸いに存じます。

何かとご多用の折とは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

島根県教育センター浜田教育センター長 佐藤 誠

1 期 日 令和3年5月15日(土) 12:50~16:50

2 日 程

- (1) 開会行事 12:50~12:55
- (2) 研究発表 13:00~14:25
- (3) 講 演 14:35~16:45 (途中10分間の休憩有り)
- (4) 閉会行事 16:45~16:50

3 申込方法

- (1) 島根県教育センターHPトップページより「参加申込はこちら」を選択してください。
・こちらの二次元バーコードからも申込可能です→
- (2) 必要事項を入力し、「送信」を選択してください。
- (3) 参加申込〆切 令和3年5月10日(月) 17:00



4 その他

- (1) 配付資料は、各自で会員ページからダウンロードしてください。
- (2) 島根県公立学校教職員は、本発表会の視聴をもって、管理職セレクト研修とすることが可能です。
- (3) アンケートフォームによる質疑応答やご感想をいただく時間を設けています。

13:00~13:25

小学校プログラミング教育に関する
教職員研修の在り方についての一考察
-授業実践に対する教職員の認識に焦点を当てて-
(前)島根県教育センター研究・情報S
指導主事 多々納 真吾(代表)

小学校のプログラミング教育について、センターの出前講座や学校訪問等から得られたデータをもとに、どのような研修内容や手立てが「分かった!」と感じられるのかを調査しました。プログラミング教育はICT機器を使えば良いものではありません。「プログラミング的思考」を育成することこそ、大切なのです。

13:30~13:55

教科等横断的な学びに関する一研究
浜田教育センター研究・研修S
指導主事 三浦 伝(代表)

「カリキュラム・マネジメント」の1側面である教科等横断的な視点。それって具体的に何をすれば良いのかわからない・・・そんな声を解決すべく、「リーフレット」を作成しました。さあ、「教科等横断」について、いっしょに考えてみませんか?

14:00~14:25

学校現場を支える教育センターの役割
-「ケース」支援を通じて-
浜田教育センター教育相談S
指導主事 岩上 弘史(代表)

学校現場では日々、様々なケース会議が行われています。学校現場を支える教育センターの役割のひとつとして「短時間でできるケース会議」について研究をしてきました。学校で取り組みやすいと思われるケース会議の運用について一年間の取組について発表します。

令和三年度講演

14:35~16:45

前思春期~思春期・子ども支援の要点
-教育相談と生徒指導のユニバーサルデザイン-

講師 宇部フロンティア大学臨床教授

小栗 正幸(おぐり まさゆき)氏

「今、この子にどんな言葉をかけるとよいのだろう?」「どう対応するとよいの?」きっと、子ども達との日々のかかわりの中で、多くの先生方がこの思いを抱かれるでしょう。揺れ動く子どもの気持ちに寄り添った対応はできていますか?常に変化、成長している子ども達を私たちはどう捉え、どうかかわっていきますか?どの子も思春期を迎えます。これから思春期を迎える、また、現在思春期真っ只中にいる、そんな子ども達の支え方、かかわり方を小栗先生から学びませんか。